



「通いたい!」と思わせる素敵なお内装に、院長のこだわりが見えた。駐車場も備えられていて、車で通院する人も多いよう



↑受付

←クリニックを開業するにあたって、内装にもこだわったという菅又院長。中でも椅子類は、そのほとんどをスタッフとともに自ら買いに行き、実際に座り心地を確認して選んだという。こだわりの椅子のひとつがこれ



待合室の椅子はどちらもふかふかで座り心地抜群。これなら待ち時間も苦ではないかも

「必要があれば切除する」
「Excision」の5つが「exas」。
この5つは、乳腺疾患に対して同クリニックでできることを表している。

病院内数の少ない立地から、乳腺に限らず一般診療も行なっている同クリニック。検診によって患者に自身の健康への注意を促すほか、一般に敬遠されがちな、がんの既往のある人の健康管理も請け負っていきたいと院長は意欲を見せている。
(本誌・加藤真彦)

★「マンモエクス」を提唱!★

マンモエクス 菅又クリニック

- 埼玉県さいたま市日進町 3-430-1
- TEL048-669-1155
- 診療科目 / 乳腺外来、内科、胃腸科、外科、皮膚科
- 診療時間 / 9:00~12:00、14:00~18:00
- ※ 乳腺外来は火、金のみで要予約
- 休診日 / 木曜、日祝日



「病気になる情報は、噂や口コミで広まっているものが多い。そうではなく、正しい知識を持ってもらうよう、地域の患者さんに啓蒙したい」と語る菅又徳孝院長

最新機器と専門家が対応し 早期発見と健康管理を啓蒙

がん治療には 早期発見が何より

「マンモエクス」とは、菅又徳孝院長自身による造語。乳房を表すラテン語

「マンモ」に、「exas」という造語を組み合わせた。すなわち、「触診をはじめとする様々な検査」(Examination)、「乳房レントゲン検査」(X線)、「超音波検査」(Ultrasonography)、「十分な説明

を行なう」(Explanation)、「必要があれば切除する」(Excision)の5つが「exas」。この5つは、乳腺疾患に対して同クリニックでできることを表している。

乳がんに限らず、がん全般に対して早期発見の大切さを強く訴える院長は、検診の結果、がんが診断された場合の告知について、次のように語る。「がんの告知は一般的になりつつありますが、告知するのなら、本人と家族に対し、告知後のサポートを責任を持って行なっていくべき。患者さんに対するケアは医師や看護師がサポートしますが、家族に対するサポートは見過ごされているのが現状です。このクリニックではそういうことも補っていきたい」

～読者のお便りから～

じつはこちらのクリニックは読者の方からのご推薦。「5年前に乳がんが見つかり、左全摘手術を受けました。いまは元気に過ごしています。そのとき大変信頼できる主治医でいらした先生がクリニックを開院されたというので、ご紹介します。女性にとって乳がん検診というのは、どこかで気になっていながらも中々受けていないのが現状では。自ら検診を受け、悲しい思いをする人が1人でも少なくなることを願っています」
(匿名希望の女性より)



クリニックの最奥にある検査室には、エコー（超音波）や乳房専用レントゲン・マンモグラフィーが。検査室手前には更衣室と待合スペースもある。エコーは診察する部位によってからだに当てる器具（プローベという）が異なるが、ここにはもちろん乳房専用の器具がある。写真で見えているものがそう



処置室は、検査後の休憩場所としても使用される



J R 高崎線宮原駅より徒歩9分



これが同クリニック自慢の最先端機器、マンモグラフィ。機械があっても使いこなせなければ意味がないが、同クリニックには専門技師が週2日来院。その日が乳腺外来日となる。「乳腺のレントゲンは、乳房をはさんで撮影します。これが痛いと言って敬遠する人も多いのですが、はさむ技術さえあれば痛くもなんともない検査ですよ」

アメニティ

特別個室

クリニック

ニューオープン

ウーマンヘルスケア

菅又クリニック
読者からの推薦病院